大仙市立太田南小学校　学校報

あかまつ

令和３年度
第52号
令和３年12月17日

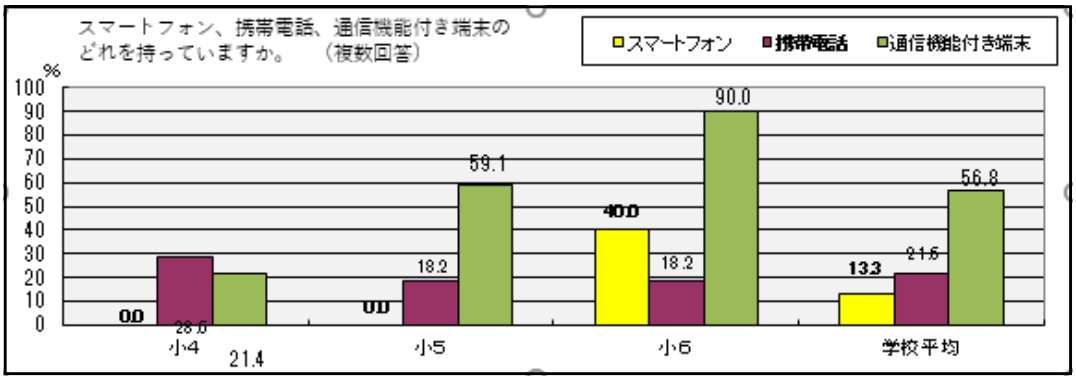
《学校教育目標》　夢に向かって 本気で チャレンジ！ 笑顔の花さく 南っ子

携帯電話等，インターネット利用実態調査から

中学校の試験期間に合わせて太田地区４校で取り組んだ「アウトメディアチャレンジ」はいかがでしたでしょうか。これは，近年の子どもたちの課題であるネットトラブルやメディア漬け（テレビ，ゲーム等）に対して，家族内で話し合う機会を設けてもらい，正しいメディア利用ができるようになること，そして正しい利用の意識を高めてもらうことをねらいとして取り組んでいることは，あかまつ 31 号（９月７日）でお知らせしたとおりです。今回の学校報では，県教育委員会が毎年行っている「携帯電話等，インターネット利用実態調査」の県の結果概要のうちの２つについて，心配な面がありますので，本校の結果と照らしつつお知らせしたいと思います。調査は７月に全県の小学校４年生から中学校３年生までを対象に行われたものです。

１　各学年の在籍児童生徒数に占めるスマートフォンの所持率は，全ての学年において増加しているが，特に，中２は65%，中３は70%を超えている。

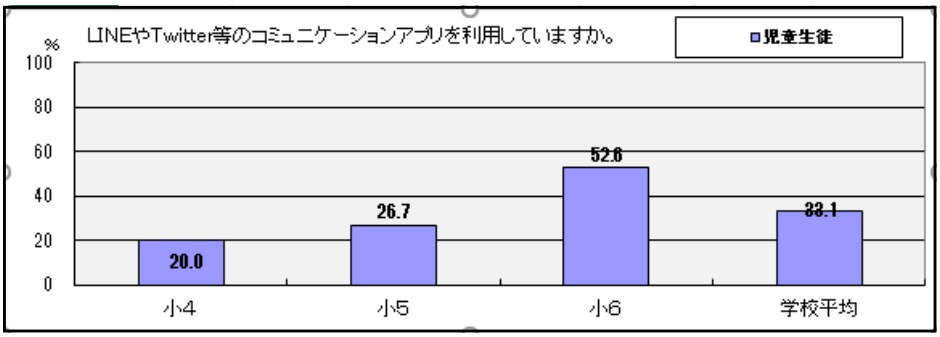
本校の結果は下のグラフの通りです。子どもさんにスマートフォンをもたせる場合は，「他の子が持っているから」という理由ではなく，その必要性についてよく話し合っていただきたいと思います。高額なもの（月々の料金もかかっていくもの）ですので安易な買い方はなさらないと思いますが，「使用時間やマナー」「他人のプライバシーを侵害する書き込みや写真掲載の危険性」「著作権等のルール」等について，学校では情報モラル教室を行いましたが，保護者の方から直接お子さんへの指導をお願いいたします。ゲーム依存，ネット依存，スマホ依存という言葉もよくニュースで聞かれます。スマホは便利なものですが，昼夜逆転の生活になってしまってから，「買い与えなければよかった」とならないよう，どうかよろしくお願いいたします。



２　平日，中学生の４割近くが，コミュニケーション等のアプリを１時間以上利用しており，休日にはその割合が５割以上に増加する。また，小学生の２割程度が，休日にコミュニケーション等のアプリを２時間以上利用している。

本校では，LINE や Twitter 等のコミュニケーションアプリを長時間にわたり利用している子は，このアンケート時点ではおりませんでした。ただ，スマホでなくても，通勤機能付きゲーム機等

を通して，友達と会話しながらゲームしたりチャット機能を使ったりしてずっと画面を見ながら（ブルーライトを浴びながら）やりとりをしている子はたくさんおり，中には「見知らぬ誰か（ゲーム上での知り合い）」とやりとりをしているケースもありました。子どものやりたい放題とならないよう，どうか家庭内でルールを決めていただき，実行させるようにお願いいたします。トラブルや被害の未然防止のためにも，よろしくお願いいたします。また，トラブルや被害に遭ったという場合は，すぐにご相談いただければ，実態に合わせた指導をいたしますので，どうかご連絡をお願いいたします。



今，世の中はネット社会となり，この仕組みを上手に利用できれば，便利で豊かな生活が実現できます。ネットを上手に賢く利用できるようになってほしいと思います。どうか，調査結果を基に，お子さんのメディア環境を確認していただき，適切な環境を整えてあげてください。

令和３年度人権標語コンテスト

今年度の人権標語コンテストに，５・６年生全員が応募しました。大仙市・仙北市・美郷町から 1,611 編の応募があり，その中から，６年〇〇〇〇さんの標語が入賞したとの知らせがありました。15 日（水）には人権擁護委員の方が直接学校にいらして，〇〇〇〇さんに賞状と記念品を贈呈してくださいました。おめでとうございます。

大曲人権擁護委員協議会長賞
６年生　〇〇〇〇　さん

「いじめをなくし　思いやりを　ふやそう」

大仙市小・中学生「スキーシーズン券」の利用を

大仙市では，市内の小・中学生が厳しく長い冬を健康で楽しく過ごすことができるよう，市内３つのスキー場のリフト利用を無料にしています。昨年度はたっぷりの（多すぎるほどの）積雪のもと，スキーを楽しむことができた冬でしたが，今年はどうでしょうか。是非，そこそこの積雪で，秋田の冬を満喫できるといいなと思います。

無料でリフト利用をするために，本日，「スキーシーズン券」を配付しました。市教育委員会から，使用上の注意について記した案内が届いていますので，お子さんと一緒に必ず目を通して下さるようお願いいたします。特に，紙面４番については，市から強く言われていることですので，どうか，大切に利用してほしいと思います。